



かみじま探検

□広域地域交流 2月

ちんじゅのもり拠点のある伯方島を飛び出し、愛媛県越智郡上島町にある弓削島で子どもたちと交流をしました。

弓削島までは、伯方島の木浦港から快速船に乗って移動します。

普段、自家用車で移動をすることが多い子どもたちには、自分で切符を買い、公共交通機関を使って海を渡ること、波に揺られて停留している船に乗ることから、ひとつひとつの行動が初めての体験で緊張の連続でした。

船内で地域交流に参加する大学生と合流し、仲間が増えて一気に緊張感が消えていました。





□広域地域交流 2月

弓削港から自転車で福祉センターまで移動し、月1回地域の人たちが開催している『かみじまみんなの食堂』で昼食をとりました。

たくさん子どもたちや大人の方々が集う交流の場でもあり、知らない人たちとの相席で、またみんな少し緊張していましたが、手づくりのおいしいごはんをいただきました。食事の後は、下膳や机ふき、座布団や机の片づけ、掃除機かけなど、大学生といっしょに食堂の仕事を手伝いました。こどもキッチンでお手伝いには慣れてきているからか、できることをしっかり張り切って取り組んでいました。





□広域地域交流 2月

その後、上島町の保育園から中学までの子どもたちとレクレーションをして交流しました。

食事の際には言葉を交わしてはいないけれど、見かけた子どもたちと一緒に活動です。

大学生がリーダーとなり、協力し合わないと成功しないゲームにみんなで挑戦しました。

誕生日の早い順に一列に並ぶゲーム、年齢順に一列に並ぶゲームで、自分から声をかけたり、知っている情報を伝え合って、見事成功。グループに分かれた風船ゲームは、みんなが声をかけあってラリーが続くように協力していました。

海を超えての交流は、上島の子どもたちが小さい子や障がいのある子を思いやりながら一緒に遊ぶ姿をちんじゅのもりの子どもたちも見て学ぶ機会にもなりました。





かみじま探検

□ヨット・無人島自然体験 6月

2月のかみじま探検に続き、ちんじゅのもり拠点のある伯方島から、愛媛県越智郡上島町にある佐島に向かいました。

今回のテーマは自分の住んでいるところの周りの島を知ることです。隣りの大島から初めて探検に参加した子どもいましたが、すぐに打ち解けて仲よくなり、券売機で自分の切符を購入。こども同士で教え合ったり、ボタンの位置を確認しながら購入していました。また、快速船に乗船中に外国からの観光客と出会い、外国ルーツの子どもたちは英語であいさつを交わしていました。

初めて下りた佐島港で、ちんじゅのもりのユニフォームに着替え、ちんじゅのもり号でヨットの停泊地 Basecampへ向かいました。





かみじま探検

□ヨット・無人島自然体験 6月

Basecampでは、ビーチクリーニングでゴミについて考え、航海をテーマにしたカードゲーム、上島町特産のレモンを使ったレモネードづくりを体験しました。

そして、木造のカタマランヨットで無人島へクルージング。保安上の注意点など説明を受けてから乗り込み。船上では海の上から見る他の島々の景色や橋の形を自分たちの見慣れたものと比較しながら気づいたことを話し、観察をしながらクルージングでした。帆を張って舵を切る体験もしました。無人島に着くと、砂浜を歩きながら洞穴を探検したり、貝殻を拾いなど自然観察をしました。同じ島でもいろんな違いを発見しながら、自分で気づく、体験する、人に伝えるなど非日常の中で多くを体験できたかみじま探検でした。

